

行きたい学校、帰りたい家庭、住みたい船越

あいさつ 100%の推進

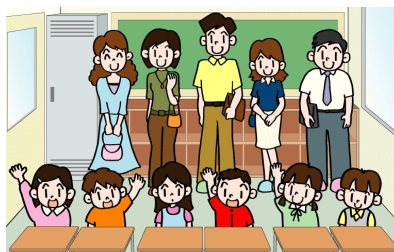
学校だより 平成 24 年度 12月

<http://www.funakoshi-e.edu.city.hiroshima.jp/>

広島市立船越小学校

“学校へ行こう” 週間・日曜参観を終えて

11月は、1日（木）～7日（水）が“学校へ行こう”週間、18日（日）が日曜参観でした。いずれにおきましても、ご多用の中、多くの皆様にご参観いただきありがとうございました。特に、日曜参観におきましては、平日の参観日にはご都合のつかない皆様にも多数ご参観いただき、子どもたちも喜んでいただいているように思います。また、教室や廊下には、“校内絵画展”の作品などが掲示され、併せてご覧いただけたのではないかと思います。



参観授業の後はPTA講演会で、広島市教育委員会生徒指導アドバイザー（元船越中学校校長）の松木鶴美先生によるご講演をいただきました。約1時間という短い時間ではありましたが、「今、子育てに求められているもの」という演題で、大変貴重なご示唆を数多くいただくことができました。ご参会された保護者の皆様には、最後まで熱心にご聴講いただき、ありがとうございました。

“学校へ行こう” 週間の参観者はあまり多くありませんでしたが、「船小プレイランド」が行われた6日（火）を中心としていろいろな方にご参観いただきました。また、今年も事務室前に自由記述のアンケート用紙を置き、保護者・地域の方・その他（幼稚園関係者）からご回答をいただくことができました。「子ども達は、笑顔・笑顔！6年生はしっかり下級生の面倒を見ていました。受付の子ども、説明の子ども、声を出し、自分の役割を果たしていました。中で準備している子ども頑張っていました。楽しく、あっという間に過ぎてしまいました。（保護者より）」など、貴重なご意見・ご感想をいただき、ありがとうございました。

幼保小中合同研究会

11月20日(火)は、本年度第3回目の幼保小中合同研究会でした。以前は、幼・保・小の研究会と小・中の研究会は別々に行われていましたが、今では幼・保・小・中が合同で研究会を開催しています。

1回目の合同研究会においては全体会(広島文化学園大学の佐々木尚美先生:元船越幼稚園長によるご講演)や分科会(国語、算数、英語、言語・数理運用科、特別支援教育)が行われました。また、夏休み中に行われた2回目の合同研究会においては2日間にわたるライフスキルの研修が行われました。

そして第3回目の今回は、小学校の授業研究会で、2-2(算数)、4-2(国語)、5-3(英語)、6-1(言語・数理運用科)、ひまわり②(特別支援教育)の授業を公開しました。各学級の子どもたちは、幼稚園・保育園の先生や中学校の先生に参観していただき、緊張しながらもいつも通りの力を発揮できたようです。

幼保小中合同研究会においては、幼稚園・保育園から小学校、さらには中学校へと進学する子どもたちの様子について情報を交換し合い、課題を共有することができます。学力だけでなく、生活上の問題点なども浮き彫りにされ、それぞれの学校園で取り組むべき課題が見えてきます。今後も幼・保・小・中の連携を深め、子どもたちの成長を一貫した視点で捉えていくことが大切だと思います。

11月22日

矢野西小学校女子児童(あいりちゃん)の尊い命が奪われて7年目の11月22日(木)、本校では全校集会と地区別集団下校が行われました。

全校集会では、学校長より登下校などの安全について改めて注意・指導があり、その後、全員であいりちゃんに黙祷を捧げました。

全校集会には、日頃から子どもたちの安全を見守ってくださっている“見守り隊”の皆様にもお集まりいただきました。子どもたちの安全を見守ってくださっている皆様は60名以上いらっしゃいますが、この日は32名の皆様にお集まりいただき、児童代表による感謝の気持ちをお伝えすることができました。